

## 多年にわたる功績に敬意を表して

### 大津町自治功労者表彰

「平成29年度大津町自治功労者表彰式」が昨年12月6日、大津町定例議会の冒頭で行われました。

表彰式では、家入町長より被表彰者の皆さんに表彰状が贈られた後、被表彰者を代表して野田アツ子さんが謝辞を述べました。被表彰者は次のとおりです(消防関係の被表彰者は、「消防出初め式」で表彰を行います)。



表彰された皆さん これからもご活躍ください

### 自治功労者表彰被表彰者 (敬称略)

#### □職員に準ずる人で8年以上勤続

##### ●行政協力員

緒方洋子

##### ●民生委員・児童委員

野田アツ子

##### ●大津町国民健康保険運営協議会委員

荒井光広 花岡亮介

##### ●図書館協議会委員

松岡征一郎 江口竜一

#### □特別職として12年以上勤続している町職員

家入勲 大塚龍一郎

#### □一般職として20年以上勤続している町職員

大塚昌憲 田島公洋

## 町内企業、優秀な人材を求めて

### 企業と学校との情報交換会

町の企業、69社からなる大津町企業連絡協議会の主催による就職情報交換会が昨年11月20日に翔陽高校で開催されました。

今年度は町内の企業30社と県内の高校など16校から約70人が出席。今後の採用計画や求められる人材についての意見交換や、地元での就職の促進の方法などについて話し合いました。



企業側と高校側に分かれ活発な意見を交換しました

## 北部地域の元気をひとつに

### 大津町北部復興イベント

大津町北部復興イベントが昨年11月25日に大津北小学校で行われました。これは、平成28年熊本地震からの復興へ向けた機運を大津町北部地域から高めたいと、NPO法人熊本若葉会と大津町平川区長会の主催で行われたものです。ステージイベントで県内外から団体が参加し、来場者を楽しませていました。最も遠くから駆けつけたNPO静岡絆の会からは開会式で「復興桜」を地区に寄贈し、共に復興を誓っていました。



県警音楽隊の演奏とくまモン、からいもくんによるくまモン体操のダンスで会場からは割れんばかりの拍手

## 翔陽高が南小被災花壇を修復

### くまもと未来への復興人材育成事業

地震で被災した大津南小の花壇を翔陽高校で造園などを学ぶ2年生16人が昨年12月11日に修復し、同小に引渡しを行いました。和風の小庭園「復興の庭『繋ぐ』」に生まれ変わった花壇は同高校の生徒らが9月から5回に分けて作ったものです。同小の環境委員長松村詩音さんは「庭が完成してうれしい。これからみんなで草取りなどの手入れを頑張ります」と話していました。



最後の仕上げは高校生、小学生と一緒に枯れ山水用の白い石をしきつめます

## 親水公園をライトアップ

### 「宇宙カライモ」イルミネーション点灯式

親水公園のシンボル「宇宙カライモ」を光で照らす点灯式が昨年12月17日に同公園で行われました。これは、地域おこし協力隊の町おこし事業で「町に賑わいを」という思いで企画されたものです。からいもくんの合図で、「宇宙カライモ」の周囲に光が灯ると会場からは口々に「きれい」と声があがりました。会場では焼き芋やポップコーンの振る舞いや、ギター演奏などもありました。



幻想的に輝く「宇宙カライモ」イルミネーションは1月15日(月)まで続く予定

## 大津町最大の人権イベント

### 人権を考える女と男のつどい

「人権を考える女と男のつどい」を昨年12月2日に町生涯学習センター文化ホールで開催しました。

前半は、男女共同参画川柳コンテスト表彰、大津町女性の会会長の坂本晶江さんや三気の会の今池一成さんからの取り組みについての説明などがありました。

後半は、二人組み音楽ユニット87浩平の二人が「歌に見る男女共同参画」の話と歌を披露。会場には美しい歌声が響いていました。



演奏と美しい歌声を披露する87浩平の二人  
左から築義彦さんと西浦浩平さん

## 棚倉町(福島)から復興の願い届く

### 早期復興願う「ささつなツリー」仮設住宅へ

笹の葉にツナ缶がつるされたツリーが昨年12月5日に南出口仮設住宅の「みんなの家」に届けられました。これは、26自治体の首長でつくる、ささつな自治体協議会が行う慈善事業の一環で、全国の災害被災地同士を応援メッセージ入りの短冊のついたツリーを送ることで交流を図るものです。今回、福島県棚倉町から届いたツリーを町のサッカークラブ「MELSA熊本」が町内の仮設住宅へ届けてくれました。



届けられたささつなツリーは3月頃まで仮設住宅に飾られます